

# 練馬区における外環の地上部街路についての意見に対する都の見解（抜粋）

## 1 意見把握の方法

名称	時期	回数	来場者	ご意見カードの数
話し合いの会	平成22年6月～平成23年8月	6回	184人※	37通※
広く意見を聴く会	平成23年11月	3回	231人	118通
広く意見を聴く会	平成26年1月	3回	296人	89通
オープンハウス	平成26年2月	9回	151人	90通

※ 構成員を除く

## 2 意見に対する都の見解（抜粋）

	いただいた主な意見	都の見解
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代のため、安全・安心のための道路が必要</li> <li>練馬区西部の南北道路は明らかに不足している</li> <li>長い間、地元は整備を待ち望んでいる</li> <li>高速道路の外環が地下化されたのだから、地上部の道路は廃止すべき</li> <li>50年前の計画を進めるのは時代錯誤</li> <li>被災地の復興など他の施策を優先すべき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外環の地上部街路は、都内の都市計画道路ネットワークの一部であり、高速道路の外環とは別の機能を持っています。</li> <li>この道路は、地域課題の解決に資するとともに、練馬区内の都市計画道路ネットワークの形成など、広域的な視点からも必要と考えます。</li> </ul>
あり方	<ul style="list-style-type: none"> <li>代替機能を確保して都市計画を廃止する案はないのか</li> <li>将来世代のためにも幅の広い道路にすべき</li> <li>影響を受ける権利者や早期完成を考えると、幅員40mにこだわる必要はない</li> <li>幅員40mでは、地域分断や歩行者の横断が心配</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>代替機能を確保するには既存道路の拡幅が必要となり、その沿道の土地利用の状況等を考慮すると、廃止は困難と考えます。</li> <li>標準幅員は、道路の基本的な機能を確保した上で、歩行者、自転車、自動車の通行空間を構造的に分離可能な22mとします。</li> </ul>
環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>グリーンベルトを整備してほしい</li> <li>緑は必要などところに増やせばよい</li> <li>身近な緑が減少するのではないのか</li> <li>沿道環境や石神井公園に与える影響が心配</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣の緑との連続性や沿道環境の保全に配慮して、緑のネットワークの形成等に資する植樹帯を設置します。</li> <li>交通量が同程度の2車線道路の沿道では、大気質や騒音等の環境基準等を概ね達成しています。</li> </ul>
防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>火災の延焼防止や緊急物資輸送のために必要</li> <li>首都直下地震への備えとして必要</li> <li>震災時には自動車が動かず機能しないのではないのか</li> <li>延焼遮断帯として機能しないのではないのか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難場所などへの安全な避難路が確保されるとともに、緊急輸送ネットワークが拡充されます。</li> <li>都市計画道路は、延焼遮断機能に加え、救援・救護活動の空間等の役割を担うこととなります。</li> </ul>
交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車交通に適した道路が不足している</li> <li>少子高齢化により自動車交通が減少するため道路は不要</li> <li>生活道路に通過交通が流入しており危険</li> <li>交通事故の増加が心配</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>練馬区では、都市計画道路の整備率が5割を下回る状況です。</li> <li>地上部街路の整備により、交通の円滑化が図られるとともに、生活道路を利用していた自動車交通が地上部街路に転換し、生活道路の安全性が向上するものと考えます。</li> </ul>
暮らし	<ul style="list-style-type: none"> <li>狭い生活道路をバスが行きかうため危険</li> <li>地上部街路がなくても困らずにやってこられた</li> <li>歩行者と自転車の通行空間を分離すべき</li> <li>ベビーカーや車いすが安心して通行できる歩道を整備してほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺道路の交通の流れがスムーズになると、救急医療機関までの所要時間の短縮や、バスの定時性の向上が見込まれます。</li> <li>歩行者、自転車、自動車の通行空間を構造的に分離可能な幅員22mを確保し、バリアフリー化された歩道を設置します。</li> </ul>

※ これまでいただいたご意見の一部を抜粋して記載しています。詳細は下記のホームページをご覧ください。  
<http://www.toshiseibi.metro.tokyo.jp/kiban/gaikaku/>